



ナラヲヨム

2006年8月4日発行

発行●(株)南都銀行／(株)明新社／キリンビール(株)奈良支社／奈良豊澤酒造(株)／梅乃宿酒造(株)／(株)中谷本舗
企画編集●奈良県立図書館 編集協力●(株)誌志奈良ラッグ

summer
2006
Vol. 4

ナラヲヨム。



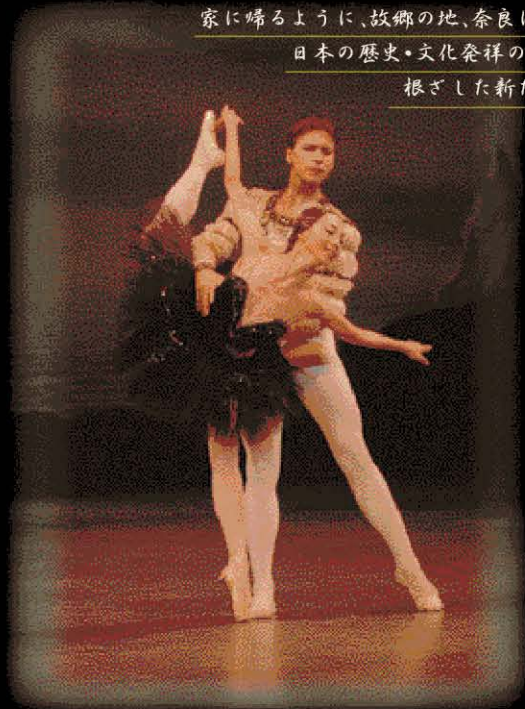
きく奈良

若い奈良

1300年の伝統をもつ奈良。
長い歴史に新たなページを創る
若い力があります。
新しい風の“今”をお伝えします。



家に帰るように、故郷の地、奈良に帰ってきました。
日本の歴史・文化発祥の地で、自国の文化に
根ざした新たな芸術を創造したい。



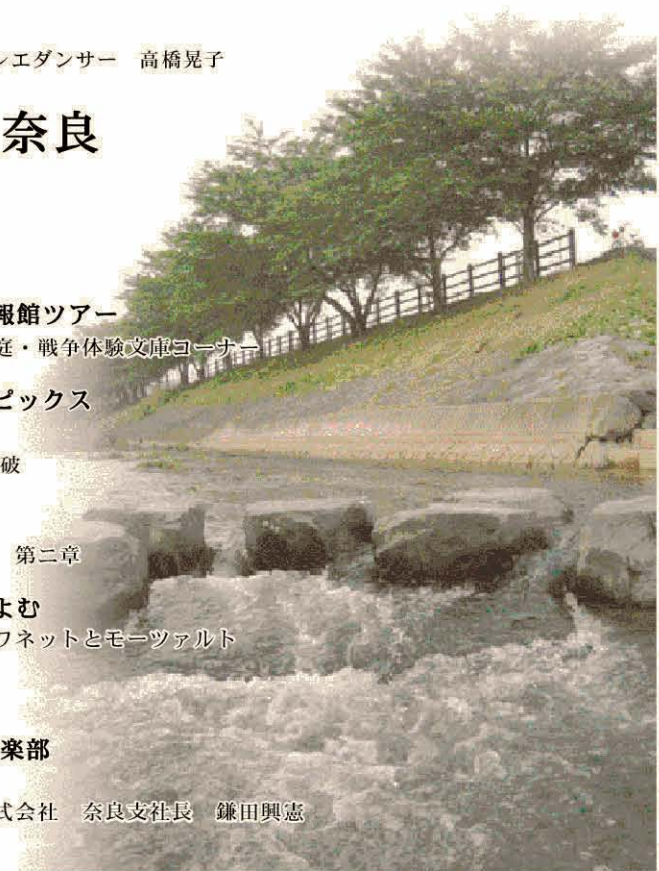
RCBA代表 バレエダンサー 高橋 晃子 Akiko Takahashi

- 90年 ロシアサントペテルブルクワガノバレエ学校、ロシアカザフスタンアルマータバレエ学校に短期留学
- 91年 ロシアモスクワバレエアカデミー（ポリショイバレエ学校）短期留学
- 93年 ロシアモスクワバレエアカデミー（ポリショイバレエ学校）正式入学
- 95年 ロシアモスクワバレエアカデミー（ポリショイバレエ学校）卒業
モスクワ音楽劇場（ダンチェンコ）入団すべてのレパートリーに出演し、キャラクターソリストとして高い評価を受ける。主に、くるみ割り人形のアラビアの精、ドンキホーテのジプシー、白鳥の湖のマスルカなど。
- 98年 ロシアバレエアカデミー（ポリショイ）大学入学
ルースキーカーメルヌイバレエモスクワに移籍クラシックバレエダンサーとしてデビュー。ジゼル、ミルタ、ショピニアナのプレリウド、白鳥の湖の三羽の白鳥、海賊のパ・ド・トゥなど。現代舞踏でも、新作・金鶏の大役シェマー八女王を踊り、モスクワテレビ、新聞、雑誌等で、「クラシックキャラクター、現代舞踏までも踊りこなす。まれに見るバレリーナ」として絶賛される。
- 02年 ロシアバレエアカデミー（ポリショイ）大学卒業、教授資格取得、帰国
- 03年 ロシアクラシックバレエアカデミー（RCBA）開校
- 05年 新スタジオを学園前にオープン

ナラヨム Vol. 4

CONTENTS

- 1 若い奈良
RCBA代表 バレエダンサー 高橋晃子
- 4 特集 きく奈良
パイプオルガン
水琴窟
蓮
藤
- 10 第3回図書情報館ツアー
カフェテラス・庭・戦争体験文庫コーナー
- 11 図書情報館トピックス
フルート演奏会
入館者30万人突破
- 12 河瀬ワールド
猿の森を訪ねて 第二章
- 14 図書情報館がよむ
マリー・アントワネットとモーツァルト
- 15 編集後記
- 16 NARA発信倶楽部
企業人に聞く
キリンビール株式会社 奈良支社長 鎌田興憲



写真：佐保川

7色印刷・イベント・IT・セールスプロモーション・ノベルティ



株式会社 明新社

URL <http://www.meishin.co.jp>
E-Mail info@meishin.co.jp

- 本社 630-8141 奈良市南京総町3丁目464番地
TEL 0742-63-0661(代) FAX 0742-63-0660
- 大阪営業所 543-0001 大阪市天王寺区上本町6丁目6番1号
TEL 06-6771-4501(代) FAX 06-6773-0492
- ちいどの店 630-8217 奈良市橋本町36番地
TEL 0742-23-3131(代) FAX 0742-26-0093





INTERVIEW

ところに関心があります。そこを自らの努力と精神力によって昇華するということは、極めて難しい選択でもあると思います。別の国の文化の伝達者であり、かつ自国の文化を修得し表現する、ということです。今年の遷都祭では、平城宮跡でRCBAの生徒たちが踊りを披露しました。1300年の歴史と伝統の舞台上で踊る意味を感じてもらいたかった。日本の歴史・文化の出発点とも言えるべき地で、西洋の舞踏芸術を通して、日本の新たな芸術文化を発信するという第一歩になったような気がします。

西洋の舞踏芸術であるバレエが日本らしく進化する。つまり、バレエで極限まで美しく鍛え、それを外国の土俵ではなく日本で生かす。体とアジアンビューティーと精神美と古代以来の色彩文化を武器に、もはやバレエとはいわれない独自の芸術をこの奈良から発信したいのです。そのようなコンセプトで新しいカンパニーを作り、世界に出たいと考えています。奈良には、世界に誇れる文化発祥の地としての日本人のルーツともいうべき土壌があります。ルネサンスというムーブメントにはうってつけだと思います。私たちには、日本人の精神を表現し、日本らしさを伝え責務があると思います。

守るから創るへ。来る平城遷都1300年をきっかけにそのような力、都パワーともいう創造力を結集できればと考えています。これからこの奈良に息づく歴史、伝統、文化に身を寄せながら、新たな舞踏芸術を創造していきたいと思っています。(談)



Akiko Takahashi

LESSON



INTERVIEW

クラシックバレエを始めたのは小学校2年生のときです。テレビの影響もあり、地元のバレエ教室に通い始めました。14歳でオーディションに合格し、ロシアに短期留学した後は、ロシアでの本格的な研鑽を目指し、93年から2年間、ロシアモスクワバレエアカデミー(ポリショイバレエ学校)に籍を置きました。その後、ロシアのプロのバレエ団に入団し、プロ活動の傍ら大学にも通いました。大学では教授資格を取得しましたが、これは、自らが得たものをことばで伝えるシステムを修得したかったということです。プロとして踊ると教えるのは違うということです。日本には演技指導というものはありません。その意味でも大学に通ったことは大きな意味があったと思います。さらに、既定のクラシックバレエだけを踊るのはいやだったんです。アーティストとして踊りを創造したかったのです。

プロの仕事は、それは厳しいものでした。満員の観客の中で、ひとりで何役もこなし、ロシアという異国で孤独でした。ロシアで7年間、プロ生活を送りましたが、外国でひとりということが消化し切れなかったんでしょう。自然に我が家に帰ってきたんです。

帰ってきた当初は、なんということもなく毎日過ごしていましたが、ひとりで踊る寂しさや自分の中のプロ意識がどこかにあったのでしょうか。自分が一番好きだったことを次世代の子どもたちに伝えたいと思い、バレエ学校を始めたのです。現在100名ほどの生徒がいます。ロシアで学んだことばで伝えるシステムを通して独自のプログラムで指導しています。やはりバレエは、美への憧れというか、そんな魅力に溢れています。やってくる子どもたちはさまざまですが、本当にきれいになりますし、心も体も浄化されていきます。もちろん私と同じように海外を目指す生徒もいますし、海外へ送り出そうと指導もします。しかし、私は思うんです。日本人がバレエを外国並みにする必要があるのかと。いいかえれば、その意味でのレベル向上は無意味なのではないかと思うのです。土俵が違うのですから。

私にとっては、きれいになって幸せになる、という極めて個人的な選択から始めるバレエ、つまり外国の文化を一日本人がどのように取り込んでいくかという



RCBA Russia Classic Ballet Academy

伝統的なポリショイバレエ学校のみ指導されるカリキュラムに基づき初心者から国際的なバレリーナを目指す方まで一人一人に合った指導に取り組みます。



〒631-0035
奈良市学園中1丁目1542-189
ロシアクラシックバレエアカデミー

TEL: 0742-53-1777

携帯電話: 090-2064-1678
レッスン中は出られない場合があります。



Special EDITION

きく奈良

どこに行っても音の洪水。
 少し喧騒を逃れて、耳を傾けてみませんか。
 気づかなかった音、意外な音との出会いがあります。



パイプオルガン

風琴の音をきく

商店街の真ん中に緑茂れる空間
 石段を見上げると築118年を迎えた
 「奈良キリスト教会」があります。

パイプオルガン

荘厳な音色に魅かれて

奈良キリスト教会には、100周年記念事業で

1987年に設置された「パイプオルガン」があります。

ドイツ・ポツシユ社製で教会に合わせ

特別に設計され、送られてきました。

奥行き1.5メートル、幅4.2メートル、

そして、高さ4.85メートルの堂々たるオルガンです。

日本で、いえ、世界で一つだけのパイプオルガンです。

毎週日曜日の午前中には、ミサで美しい音色を奏でます。

信者さんでなくとも、入ることができますので

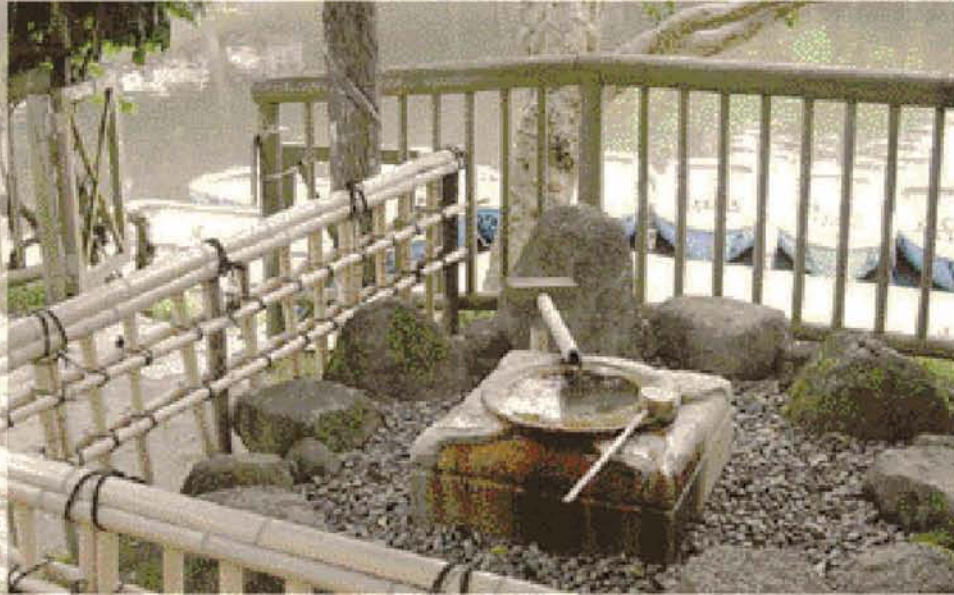
荘重な楽の音に身をゆだねてみてはいかがでしょうか。



■奈良キリスト教会
 奈良市登大路町45
 近鉄奈良駅より東向き商店街を南へ徒歩3分



マリア像



洞水門



調題

近くで水琴窟の音色が楽しめる場所と言えば、以下の場所があります。
 ●奈良公園・鸕池(奈良) ●菴麻寺西南院(奈良) ●妙心寺 退蔵院(京都)
 水琴窟の音は、以下のサイトで視聴できます。
 ●日本水琴窟フォーラム <http://www.suikinkutsu.com/>

水琴窟とは、江戸時代に活躍した茶人であり庭園作家でもある小堀遠州が考案した洞水門が発祥と伝えられています。
 さて、洞水門とは、江戸時代は現在と違い、下水処理が発達していなかったため、排水は、地中に浸透させるようにしていました。その方法として、遠州は水門を深く掘り、地中に大降りの甕を埋めて、落ちてくる水が甕の底に溜まった水に当たり、反響するようにしたようです。その後、改良が進み、常に一定の水を保つようにして、音色を楽しむようになったそうです。



浮見堂

静寂の音をきく

庭園に密かに響く琴の音色、音も風景のひとつです。

水琴窟 すいきんくつ

ある日、お茶会に行き、茶室入口の蹲踞のあたりからカラン、コロンと何とも例えようのない涼やかな琴の音色に似た音が聞こえてきました。

藤の莢 さや

春には優雅に花房を垂らす藤。花の散ったあとには扁平で細長い実がなります。

晩秋、15センチ前後にもなった莢は空気の乾燥により

その硬い果皮が割れ、実が弾けだします。

寺田寅彦は随筆『藤の実』に、庭の藤豆が勢いよく弾け、ピシリと音を立てて

障子にあたったというエピソードを記しています。

さらに、科学者でもあった寺田はのちにこの藤の実の弾ける機巧を論文にまとめています。



藤の名所 春日大社の「砂すりの藤」



春日大社内「神苑」
藤の園には何種もの藤が植栽されています

■写真提供(上・下): 奈良市観光協会

植物の音をきく

植物は私たちのまわりにいつも静かに存在し、四季を通じて様々な姿をみせてくれます。そんな植物のなかにも“音”を発するものがあります。



蓮のつぼみ

蓮の開花音

蓮はつぼみが開くときに「ぼん」とか「ばん」などの音を出すとされています。

明治の頃から、その音を聞いた、否聞こえなかったといった

「開花音論争」が繰り広げられていたようです。

この蓮の開花音は著名な詩人や歌人たちにも詠まれています。

朝風やばくりぱくりと蓮開く 正岡子規
暁の目をさまさせよ蓮の花 川井乙州



蓮の花

文化庁長官・河合隼雄さんのフルート演奏会

「四季花鳥図をめぐる夕べ」



左より平井さん、河合さん、川口さん

2006.06.02

日本画家の上村淳之さん作「四季花鳥図」が図書館情報館に寄贈されたのを記念して河合隼雄文化庁長官のフルート演奏会「四季花鳥図をめぐる夕べ」として平井裕子さん(ピアノ)、川口京子さん(歌)を招いて四季をテーマにした童謡の演奏をおこないました。

図書館情報館の入館者30万人を突破！

2006.06.27

想定より5ヶ月早く達成



館長と30万人目の入館者となった玉置さん

図書館情報館の入館者数が昨年11月の開館以来27日までに30万人を突破しました。当初は年間30万人と想定しており、これを約5ヶ月も早いペースで達成。千田館長は「予想より早く30万人を達成できて感無量。今後も利用者の期待に応え、図書館情報館が『日本の知の原点』として一層愛されるよう、職員一同サービスの充実に努めたい」と話しています。



日 本最初の図書館・芸亭。その名称は、芸香という植物に由来すると言われています。
芸香(別名・芸草)は、名前の通り香りがあり、防虫効果が認められるため、古来おりとして使われてきました。そこから芸の字は蔵書を意味するようになり、図書館の名前にも用いられたという事です。実は図書館情報館にも、この芸香が植えられています。
正面入口付近に建つ、奈良県立図書館と書かれたモスグリーンのサイン。その下に、小さな黄色い花をつけ



た芸香が根付いています。一度そのにおいを試してみたいかがでしょう。
そのほかにも、庭園ではさまざまな木々が、四季折々の花を咲かせています。天気の良い日には散策もお勧めです。
また館内からも、庭園の景色を眺めることが出来ます。メインエントランスホールの一角にあるカフェテラスでは、ゆっくりと景色を眺めながら休憩していただけます。飲み物と軽食の自動販売機が設置されていますが、昼食等をご持参なさった場合も、飲食の際はこちらのスペースをご利用下さい。

*図書館と芸香の不思議な縁については、図書館情報館のメールマガジンNo.22~25でも紹介されています。

さ て、メインエントランスホールでは毎回さまざまな企画展示が催されていますが、階段を上った所にあるブリッジや、戦争体験文庫コーナーでも展示が行われています。
戦争体験文庫とは、戦争体験に関する図書や資料を全国から寄贈していただいで成立したコーナーです。戦争に関する図書のコレクションは、公共図書館としては珍しいもの。図書以外の寄贈品は、同コーナーに設置してある展示ケース内で紹介しています。大事な思いが込められた貴重な資料を、是非ご覧下さい。



河瀬

ワールド

殞の森を訪ねて 第二章

いよいよ「殞の森」が七月中旬にクラシックインシムしました。田原の古い民家をグループホームに改装したセットでの撮影がはじまっています。認知症とは、人の愛とは何なのか。今回は自然豊かな奈良市東部山間地に位置する田原地区の紹介と、「いのち」について河瀬直美さんにお聞きしました。

奈良市東部山間地の田原にグループホームのセットを組まれたそうですが、田原とは映画にとって、どういう場所なのか。

河瀬

奈良県外から来ている若いスタッフの中には、田原がお茶の産地ということを知らずに、どこまでも続く茶畑を見て驚いている人が少なくありません。標高が500メートル近くあり駅周辺から車を走らせる山を越えたあたりから空気がひんやりしてきてホッとします。この緑豊かな美しい大和高原に位置する田原地区は住民の結束も強く、映画スタッフがいかに彼らに溶け込んで「殞の森」を制作してゆけるのか。そのことが、この映画が成功する鍵を握っていると一言でも過言ではありません。

これまでの映画のロケ地はほとんどが奈良です。奈良へのこだわりを聞かせてください。

河瀬

こだわっているわけではありません。「好き」なのです。奈良はわたしの故郷です。夕暮れの平城宮跡にたずみながら、早朝の東大寺大仏殿講堂跡を歩きながら、不思議と、もう逝ってしまっただんなの想いが、まるで自分の中に存在するように感じとれる時があります。これはどう表現したらいいかわからない体験なのですが、そのような自分の体にしみついていて、奈良の時のうねりのようなものを映画で表現したいのです。それはきつと、未来につながる表現行為だと思えます。奈良には「今」だけがあるのではない。きつと、生きとし生けるものが脈々と受け継いできた大切な「歴史」が確かにあるでしょう。

グループホームについて、どう思っていますか。

河瀬

簡潔に言えば軽度の認知症を患っている方々や、知的障害をもっている方々について、

れる方々が共同生活を営む場所です。グループホームという他人同士が家族のように暮らす場所です。自分の居場所を見つけることができたならば、人は自分の居場所が一つでもあれば、自分を否定せずに生きていけるんだと思います。だから一人でもいいから、自分を認めてくれる人がいるグループホームを描くことによつて、人の生き方や生き場所を再認識することができればと思っています。

認知症の老人と心に傷を抱えた女性ヘルパーとの心の交流を描こうとされていますが、具体的にはどういったものになるのでしょうか。

河瀬

認知症を患うということは、普通に理解できていたことができなくなってしまうということです。それは、自分の居場所がなくなるところか、自分を認めてくれない世界に生きなければならないという恐怖との戦いでもあるでしょう。認められたいという思いから始まった企画です。自ら関わった映画を是非フィルムで見に来て下さい。



河瀬

一般的に誕生は嬉しいことで、死ぬことは悲しいことです。そしてそれらはプラスとマイナスの両極端である

れない自分は居なくない存在だと感じる。この孤独と、幼い子どもを不慮の事故でなくしたヘルパーの女性の行き場のない心とがどう交わってゆくのか？ 相手の中に自分を見つけて、自分の中に相手を見つけて、という関係を描くことで、認知症の男性が見たところ老いぼれて役立たずの人間であったとしても、ヘルパーの女性にとつては心のよりどころであり必要な人だと観客が感じれば、ひいては観客にとつても必要な人だと納得できればこの映画は成功なのです。

河瀬

今年の九月末締め切りで、殞の森の「ひとコマサポーター制度」を募集しています。映画を作っただけは成功していません。多くの方に観てもらってほしい、その人の心の中に殞の森は生きはじめたものだと思います。そのためにも、映画が完成する前からこの映画のサポーターを募ったほうがいいのではないかと考えました。デジタル全盛の現代においてフィルムのひとコマを一人一人に届けたらという思いから始まった企画です。

「殞の森」を成功させるために、どういったことを考えておられますか。

「ひとコマ」 一口 2000円
 <締切> 2006年9月末日
 <申込先 郵便振替番号>
 00970-9-245449
 <口座名称>
 ひとコマもがり
 郵便局の払込取り扱い票に、あなたの郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号をご記入ください。

河瀬直美 <http://www.kawasenaomi.com>

かわせ なおみ
映画作家



奈良市生まれ。奈良一条高等学校卒業後、映画は「殞の森」制作への道を歩み始める。現在は「わたしの森」撮影のグループホームに通いドキュメンタリーを制作中。



宇多滋樹
うだしげき

「ぶらり奈良町」の発行人&古書喫茶「ちちる」店主。今作品「殞の森」では亡くした妻を思いながらグループホームで暮らす認知症の老人役を演じる。

「殞の森」-ひとコマもがり-申し込み方法

ひとコマ 一口 2000円
 <締切> 2006年9月末日
 <申込先 郵便振替番号>
 00970-9-245449
 <口座名称>
 ひとコマもがり
 郵便局の払込取り扱い票に、あなたの郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号をご記入ください。

2007年初夏 特別試写会予定会場

- なら100年会館 (奈良市)
- やまと郡山城ホール (大和郡山市)
- かしはら万葉ホール (柳原市)
- 桜井市民会館 (桜井市)
- 西吉野コミュニティセンター (五條市)
- 大淀町文化会館あらしホール (吉野郡)

マリー・アントワネット (1755~1793)

モーツァルト (1756~1791)

図書情報館「古都物語 パリ編」開幕！
 昨年はマリー・アントワネット生誕250年、
 今年はヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト生誕250年。
 二つの古都和二人が織りなすドラマとは…

モーツァルトの
 短い生涯は、
 その大半が旅にあった。



「マリー・アントワネット」 ヴイジエール・ブランシュ
 1783年 ヴェルサイユ美術館蔵

1762年が旅の始まりだった。6歳のモーツァルトは、一家4人でウィーンを訪れる。ここで、ウィーン郊外の壮麗なシェーンブルン宮殿に招かれ、女帝マリー・アントワニアや皇帝フランツ1世の御前演奏を行っている。モーツァルトはその神童ぶりをいかんなく発揮したらしい。クラヴィアの演奏はいままでもなく、その鍵盤の上を布をかけ正確に演奏したり、1本の指で正確な演奏をしたり。また、このとき、女帝の膝にのり、女帝からキスをしてもらった話や、床で転んだとき、皇女の一人に助けおこされ、彼女に「親切にしてくれたから、僕のお嫁さんにしてあげる」といったというエピソードが残っている。この皇女こそ、後のフランス皇帝ルイ16世に嫁いだマリー・アントワネットであった。

ほぼ同時代を生きた二人の接点は、幼年時代の出会いのエピソードぐらいだが、しかし、旅の人であったモーツァルトは、短い生涯に三度パリを訪れている。三度目のパリ行きは、1776年、モーツァルト21歳の

ときである。パリでの就職活動はままならず、最愛の母をこの地で亡くしている。31番の交響曲(「パリ」K.297)が書かれたのもこのときである。マリー・アントワネットが王妃になったのは1774年だから、モーツァルトは王妃マリー・アントワネットのバリでの就職を目論んだことになる。そのため書かれた多くの舞踏曲がパリの宮廷で演奏されたことだろう。マリー・アントワネットが見た宮廷舞踏会も例外ではなかっただろう。

モーツァルトは、貴族社会での就職には恵まれず、1781年、自立した音楽家としてウィーンに居を定めた。それは、貴族社会からの彼なりの脱皮であったかもしれない。しかし、もはや神童としての名声も過去のものとなっていたウィーンでも、その生活は厳しいものだったようである。1791年、モーツァルトは、歌劇「魔笛」を完成させ、プラハで自らの指揮で初演、そして最後の『レクイエム』にとりかかっても完成はできず、死の直前に弟子に未完の部分の仕上げ



「ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト」 ヨーゼフ・ネスト
 1858年 ヴェルサイユ美術館蔵

を指示し、同年12月5日午前0時55分、その生涯を終えた。

マリー・アントワネットは、モーツァルトの1歳年上で、女帝の末娘。政略結婚とはいえ、女帝は死の床にあっても娘の行く末を案じていたという。貴族社会の申し子、不幸な結婚生活、豪奢と不実な生活、フランスでは、市民革命の火の手が上がるようになっていた。彼女に対する誹謗、中傷も手伝って、反革命の象徴とみなされ、1793年、ルイ16世とともに断頭台の露と消える。モーツァルトがこの世を去った2年後のことであった。モーツァルトは保守的な古都で一步先を踏み出した。マリー・アントワネットは、激動の古都で旧体制に踏みとどまった。古都が演出したドラマは、それと引き換えに、二人に過酷な運命を背負わせたのだろうか。

幼少の頃から音楽教育を受けていたマリー・アントワネットは、器楽演奏のみならず作曲もし、少なくとも12曲の歌曲が現存している。作品の多くは革命時に焼き捨てられ、ごく一部がパリの国立図書館に収蔵されているのみである。2005年には『ベルサイユのばら』の作者でソプラノ歌手でもある池田理代子氏が、世界初録音9曲を含む12曲を歌ったCD『ヴェルサイユの調べ』をアントワネットの誕生日である11月2日に発売した。この曲が2006年上演の『ベルサイユのばら』で使用された。

7/25~8/27まで企画展「激動の古都パリ『ベルサイユのばら』の時代展を開催。期間中、池田理代子さん(劇画家・声楽家)、安奈淳さん(女優、歌手、元宝塚歌劇団のトップスター)小山俊輔さん(奈良女子大学教授)、樋口裕子さん(古典舞踏家)らを招き、記念講演会や記念トークショーを開催。

編集後記

風にそよぐ葉のおと
 蝉の鳴き声
 夕立の雨のおと
 季節それぞれに音があります
 楽器が奏でる心地よい音楽
 パソコンのキーをたたく音
 人々の話し声
 私たちの日常には実にさまざまな音があります
 いろいろな「音」をとりあげた今号
 身のまわりの音にしばし耳をかたむけてはいかがでしょう



ナラヲヨム 第4号
 平成18年8月24日発行

企画編集
 奈良県立図書情報館

発行者
 (株)南都銀行
 (株)明新社
 キリンビール(株)奈良支社
 奈良豊澤酒造(株)
 梅の宿酒造(株)
 (株)中谷本舗

編集協力
 (株)読売奈良ライフ

題字
 柴舟

本誌の無断複写・複製・転載を禁じます。

奈良の鬼力で 何ですか？

— 企業人に聞く —



キリンビール株式会社
奈良支社長

鎌田 興憲氏



奈良には長い歴史と伝統に育まれた

『本物』がそこそこにある。

他

のビール会社が奈良から撤退する中で、私もキリンビールは、「地元企業」として奈良に拠点をもつということが重要だと考えてまいりました。私自身、こちらに転勤してから10年になります。当初は、奈良でのお付き合いに、やはり壁を感じていました。ちょうど3年目に奈良市民になったのですが、それ以降、少しその壁が低くなったような気がしました。奈良に対するイメージですが、たとえば、お隣の京都は、みやびで華やかな感じがあるのですが、奈良には素朴で商業的でない暖かさを感じます。奈良には、長い歴史と伝統に育まれた「本物」がそこそこにあると思うのです。ところで、私もキリンビールでは、地域と密着した販売により販売意欲の掘り起こしを図ろうと考えています。キーワードは「共感」です。地域との「共感」という原点到るろうということなのです。大量宣伝による

大量販売というこれまでの販売戦略では大きな壁にぶつかりました。その経験が、現在の戦略へと受け継がれています。「ほんもの」が思づく奈良が大好き」というコピーも、私どもの奈良への「共感」メッセージなのです。具体的には、昨年、奈良にゆかりのデザイナーによる平城遷都1300年のデザイン缶を発売しました。この7月には、デザイン缶第2弾を発売しました。遷都1300年記念へのカウントダウンという意味合いも込められています。また、ネット上では、「KIRIN KANSAI」ホームページで奈良元気情報（「旬の街情報」など）を発信しています。奈良らしきとは、ゆとりのあるとかゆつくりしたところではないかと思えます。スローゆえの良さとかそこに息づくスローライフなど「奈良の魅力」が提供できないか、またそんなところにも私どもキリンビール自身が関わっていければと考えています。（談）

キリン関西ホームページ
<http://www.kirin.co.jp/kansai>

南都銀行はまほろばの心を 未来へと伝えます。

どんなに生活が変化しても
人と人のつながりは
変わってほしくないと
願いたいものです。
(ナント)はこれから
人と人のつながりを大切に
地域の皆さまとともに
歩んでいきたいと思えます。



NANTO 南都銀行

奈良市南本町1-3 TEL.0742-22-1131



株式会社 梅乃宿
〒630-0111 奈良市南本町1-3-1
TEL.0742-22-1131 FAX.0742-22-1132
<http://www.utsunomiya.jp>

